



秋月祭

令和四年

九月十日(土・中秋)・十一日(日)

拝観時間 17時30分～21時(最終入山20時30分)

入山料 600円(小学生250円)

主催 大本山石山寺(二社)石山観光協会

大本山石山寺

『源氏物語』誕生のきっかけになった神秘の月と、
紫式部も信仰した観音さまへの夜間拝観



秋石山寺祭

平安時代寛弘元年(1004年)、紫式部は時の中宮の新しい物語を読みたいという要望を受け、新しい物語を作るために石山寺に七日間の参籠をしていました。

そのとき、琵琶湖の湖面に映える十五夜の名月を眺めて、都から須磨の地に流された貴公子が月を見て都を恋しく思う場面を構想し、「今宵は十五夜なりけり」と書き出したのが『源氏物語』の始まりだったといえます。

その紫式部の伝承にちなみ、毎年石山寺では中秋のお月見の行事として「秋月祭」を開催しています。



▶ 中秋にあたる9月10日(土)には、10時から本堂にて紫式部法要が執り行われます。本堂内陣には世界最古の紫式部の肖像画「紫式部聖像」が掛けられます。

後白河天皇の行幸の際に建てられた「月見亭」。お月見のための歴代天皇の玉座には、団子のお供えや、秋の花やすすきなどが飾られます。▶



奉納プログラム

石山寺に伝わる源氏物語誕生の伝承の講談と本堂に響き渡る琵琶の奉納演奏

講談「紫式部と源氏物語」

9月10日(土)、11日(日) 18時～

出演 旭堂南風

きょくどうなんふう ■ 滋賀在住唯一の講談師。滋賀県立石山高校、龍谷大学卒。様々な仕事、ラジオ、演劇などを経て48歳で4代目旭堂南風に弟子入りし講談師となる。講談とは歴史などの物語を語る話芸。講談を通じて様々な寄席やコラボも主催している。



中国琵琶奉納演奏『蘇州夜曲』『夜来香』ほか
9月10日(土) 18時30分～

出演 葉衛陽、さくら

葉衛陽(ヨウエイヨウ) 中国琵琶 ■ 中国杭州市生まれ。10歳から叔父について中国琵琶を学ぶ。安徽師範大学音楽学部琵琶専攻を首席で卒業。1992年来日。京都教育大学大学院音楽教育専攻修士課程修了。関西を中心として演奏活動を行い、数多くの「葉衛陽中国琵琶リサイタル」を開催。CDアルバム「悠々弦韻」I～VIをリリース。中国音楽家協会琵琶研究会会員、日本中国文学芸術家連合会会長、長城楽団代表を務める。



さくら 中国琵琶 ■ 京都生まれ。3歳から父葉衛陽に中国琵琶を習い始め、9歳から演奏活動を開始し、数多くの舞台上で演奏経験を積む。日本国内外多数の国際コンクールで金賞受賞。若手の中国琵琶奏者として注目され、師葉衛陽との「親子中国琵琶の競演」が人気を博している。CD「美しい日本 四季のうた」「芽吹き風」「中国琵琶さくら独奏曲集」発売中。現在日本全国で演奏活動している。



筑前琵琶奉納演奏『葵と六条御息所』ほか
9月11日(日) 18時30分～ 出演 川村旭芳

かわむらきよほう ■ 筑前琵琶奏者。八歳より琵琶を始める。現在「筑前琵琶日本旭会」師範。古典曲を継承しながら、新作の創作や他分野との共演にも力を注ぐ。箏・尺八・胡弓などの演奏家四人で結成された和楽器ユニット「おとぎ」代表。NHK-FM「邦楽のひととき」ほか、テレビ、ラジオ出演。



参加型プログラム

第三回 石山寺俳句大賞

文学の寺とも呼ばれる石山寺には、和歌・連歌・俳諧・物語・小説などあらゆる分野の人々が訪れてきました。中でも松尾芭蕉は石山寺に仮住まいして多くの句を詠んだことは有名です。今宵、多くの文人たちが眺めた同じ月の下、秋の風情や想いを句にしたためてみてください。

- 応募方法: ①石山寺で投句する/②ツイッターで「#石山寺俳句大賞」をつけてつぶやく/③石山寺ホームページ専用フォームから投句
- 応募期間: 9月1日(木)～11日(日)
- 賞: 紫式部賞(最優秀賞)2本 石山寺・門前共通商品券「光るくんチケット」3,000円分ほか ※詳細はホームページをご覧ください
<https://www.ishiyamadera.or.jp/guide/event/haikutaisyo>
※入選作は月見亭と芭蕉庵の前で紹介されます



展示プログラム

竹灯籠展示

秋月祭の定番となった竹灯籠展示。石山寺から切り出された竹などを使用し、繊細な図柄が夕闇に浮かびます。会場: 公風園 ※鑑賞料無料(別途入山料が必要です)



大本山 石山寺 Tel:077-537-0013

〒520-0861 滋賀県大津市石山寺1-1-1

<https://www.ishiyamadera.or.jp/>

JR東海道本線「石山寺」下車。京阪電車石山坂本線に乗り換え、京阪「石山寺駅」下車後徒歩約10分

